

夏の部 優秀賞十首

瀬音よき中津川辺の

せおと

なかつかわべ

朝霧に街の家並は

あさぎり

まち

やなみ

なほも眠れる

ねむ

神奈川県横浜市 伊藤 修文

つるつると

のど

あじわう

喉で味わうわんこそば

やくみ

あじわいぶか

薬味なくとも味わい深し

群馬県高崎市 金子 瑞紀

ふるさとのよさを素直に語る君

すなお

かたるきみ

胸あたたまる

むね

盛岡の旅

もりおか

たび

群馬県前橋市 藤生 揚亮

わがけん
我が県のチームの審査

てにぎる

手を握る

たんかたいかい

あせ

短歌大会ならではの汗

群馬県前橋市

藤生

揚亮

もりおかの涼しき風と

すずしきかせ

しわじょう こだい

紫波城の古代のすがた

はだ かんじる

肌で感じる

神奈川県横浜市

貞松

大樹

こずかた
不來方の

おしろ

ね

お城のベンチに寝ころびて

あやつるろうじん

タブレット操る老人のあり

広島県安芸郡熊野町

仕切

晴治

つま
わが夫に

とどけて

すずかせ

届けておくれ 涼風を

えきまえ

たつ

駅前に立つ シダレカツラよ

東京都中野区

今井

貨預

たくぼく せつこ

啄木と節子も

わたり しらず

渡りたるや知らず

かいうんばし わたる

開運橋をゆっくり渡る

奈良県大和高田市 河野 洋子

まちなか なが かわ なかつがわ

街中を流るる川の中津川

つりびとあゆ

釣り人鮎を

つり み

釣りたるを見る

大阪府大阪市 吉川 昌子

「ふるさとの…」 きょくうた 曲歌つてよ

ソプラノで

きみ さと いわて
あゝ君の郷 岩手だつたね

盛岡市 佐藤 節子

〔講評〕 多くのよい作品が寄せられて喜んでいきます。高校生の作者の短歌にもさわやかな新鮮さを覚えました。盛岡に対して抱く“優しさのイメージ”が多く作品にあらわれていたように思います。

平成二十六年九月選 夏の部

投稿数 百二十五 首

選者 柏崎 驍二 氏